

心ひかれるこの風景

目標

- 自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちをどのようにあらわすか考えて、工夫して描く。
- 作品を鑑賞し、その風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る。

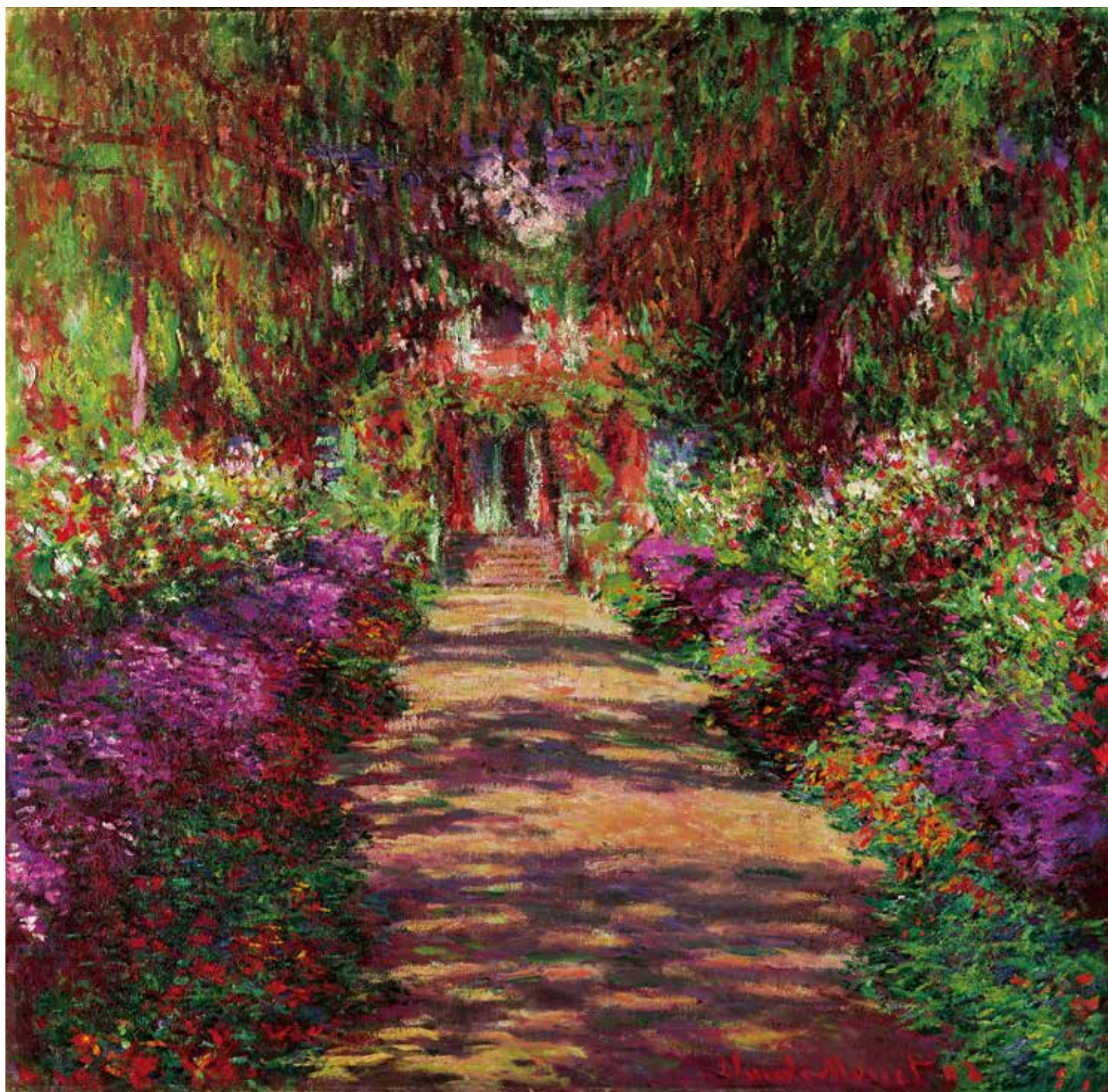
毎日の生活の中で、不思議と心ひかれる風景はないだろうか。

校舎の階段のおど踊り場、部室から見えるサッカーゴール、通学路の木々……。

風景は季節や時間帯によって表情を変える。自分が心ひかれる風景を、表現方法を工夫して描いてみよう。

鑑賞

作者はこの風景のどこに心ひかれたのだろうか。想像してみよう。



モネの庭の小道, ジヴェルニー キャンヴァス、油彩 89×92cm 1902年 オーストリア美術館蔵 クロード・モネ [1840～1926 フランス]
奥に見える建物は、モネが約40年間住んだ家。そこに続く小道を描いた。

少し視点を変えるだけで、日常の風景が急に生き生きと見えてくることがある。
見慣れた風景を、新しい視点で捉え直してみよう。



時間帯や天気によって変化する
光を意識する。



上の階の窓から、
外の風景を見下ろしてみる。



下から木々を見上げてみる。



手で枠をつくったり、紙の見取り
枠を使ったりして、風景を切り
取るように構図を考えてみよう。
切り取り方次第で、印象
がずいぶん変わるはずだ。



視点を変えると、全く違^{ちが}った世界が広がる。
気になった風景は写真^とを撮ったり、スケッチしたりして記録しよう。



目線を地面に近づけてみる。



植物越^こしに風景を見てみる。

表現

みんなの
工夫学校の「とっておきの場所」を^{えが}描こう。

毎日通る道。「これから自分が
進んでいく道」として表現したい。



- ①
奥行きを出すため、
画面を縦に
することを決める。



- ②
「道が続いていく感じ」を
表現するため、目線を低くし、
風景を何度も^{かくにん}確認。



- ③
水たまりに映った
青空が美しく
見えたので、
明るい色で
強調して描く。



- ④
遠近感を出すため、
手前の色を重ねて濃くする。

生徒作品

ずっと ^{えんぴつ} 紙、鉛筆、アクリル 29.7×21cm

作者の言葉

中学3年間、毎日通る道なので「これから自分が進んでいく道」としてあらわそうと思いました。道が長く伸びて見えるように、遠近感を意識して描くよう心がけました。



◀ 風景を描いている動画を見てみよう。



校門の横にある緑を見るとほっとする。
^{やさ}優しい色合いで描きたい。



- ①
この場所の
「優しい^{ふんいき}雰囲気」を
出すため、少し花に
近づいた構図を考える。



- ②
光の当たっている
様子をあらわすため、
^{かげ}影をしっかりと描き込む。



- ③
葉の色はそれぞれ^{ちが}違う。
風景を見ながら
絵の具を混ぜ、
さまざまな緑色をつくる。



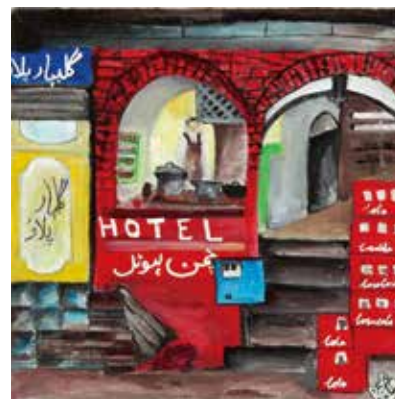
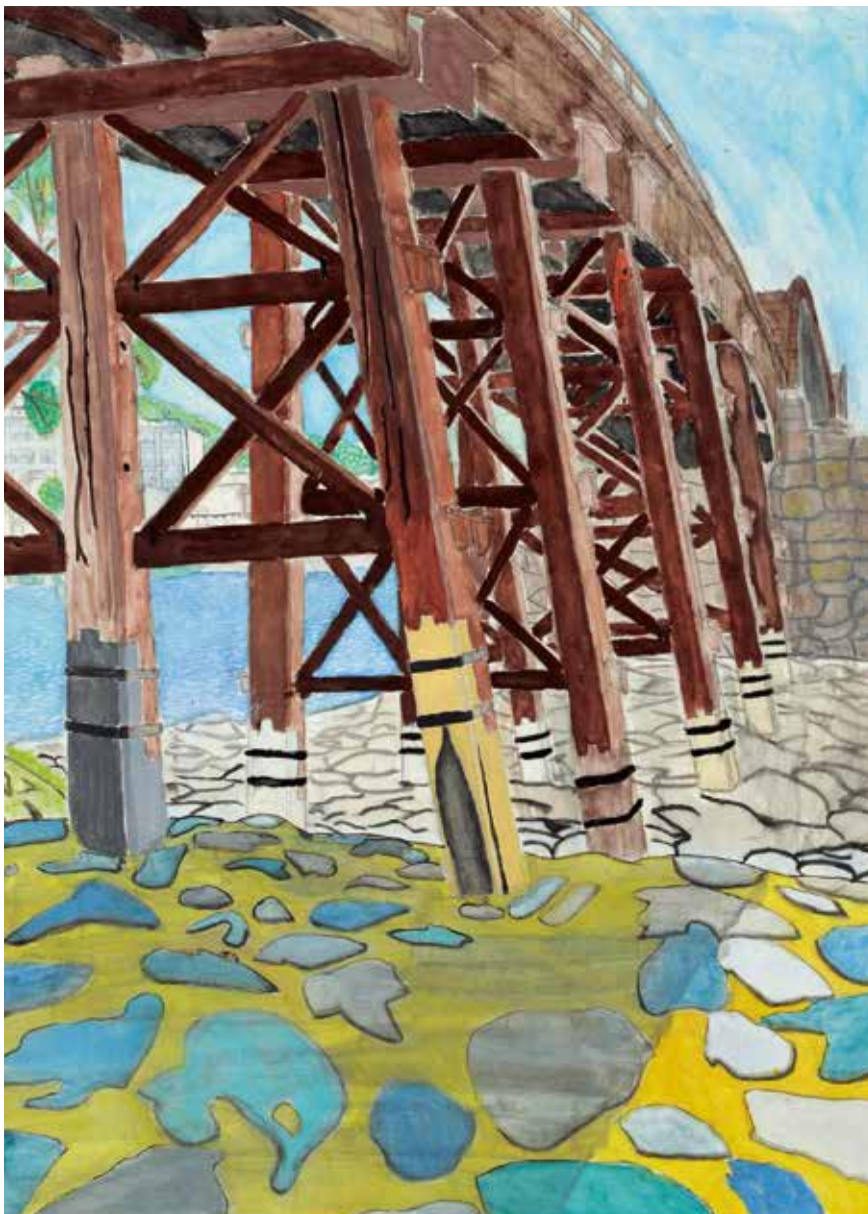
- ④
手前にある白い花は、
細い筆を使い、
水を少なめにして
色をつける。

生徒作品

緑の休憩所 ^{きょうけいじょ} 紙、鉛筆、アクリル 21×29.7cm

作者の言葉

小さな白い花がたくさん^さ咲いていて、見ているとほっとする場所です。優しい^{あわ}雰囲気を出すため、全体を^{のうたん}淡い緑色にし、光が当たっていることをあらわすために、葉の色に濃淡をつけました。



海外の生徒作品(パキスタン)

パキスタンの片田舎^{いなか}のホテル^{ゆさい}
キャンヴァス、油彩 31×31cm

生徒作品

清流^{きようきやう}と橋脚

紙、水彩 54×39cm

作者の言葉

橋の力強さをあらわすために、この構図にしました。橋が主役になるよう正面に配置し、奥行きが出るように工夫しました。立体感を出すために、影をつくり、川に日光が当たって反射している様子を描きました。

生徒作品 夏の城下町^{おとす} 紙、水彩 26×37.8cm

作者の言葉

朝の光の当たり方や、影の出し方を工夫しました。たくさんの人が、この美しい城下町を訪れてくれるといいなあと思いながら、描きました。



生徒作品 外に出る 紙、水彩 38×54cm

作者の言葉

トンネルから外に出るときの開放感が、とても心に残っていたので、描きました。トンネルの内と外での明暗の違いや、草木に当たる光の加減を、細かく再現しました。

